



# Michigan News Letter

November 2024

No.2

ミシガン経済交流駐在員

## 経済交流

- いざ、姉妹州でビジネス展開！
- 在デトロイト総領事館 進藤総領事退任セレブションでの近江の地酒プロモーション

ページ 1~2

## 教育交流

- 甲賀市の中学生の皆さん、ようこそミシガン州へ

ページ 2~3

## 草の根交流等

- 世界に誇る「THE シガパーク」を目指し、ミシガン州視察！
- 2つの都市が姉妹都市になる瞬間！

ページ 3~7

## 経済交流

### 1. いざ、姉妹州でビジネス展開！

今月は、ビジネス展開や販路開拓のため、県内の2企業のミシガン州訪問がありました。駐在員はミシガン州経済開発公社の企業誘致担当者と協力し、米国内企業との面会や関係団体とのミーティングの設定、視察先のアレンジや同行等のサポートを行いました。

面会を行った米国企業担当者は、普段からミシガン州経済開発公社とつながりが強く、駐在員およびミシガン州経済開発公社の仲介でミーティングが実現したことについて大変好意的に受け止めていただきました。

また訪問した県内企業からは、滋賀県という公的な機関のサポートを受けているという意味で、ビジネス展開の際のイメージアップにつながるとのこと、駐在員同行に大変感謝いただきました。

56年におよぶ姉妹県州の歴史は、人と人との信頼関係で成り立っており、ビジネス展開においても大きなメリットがあります。アメリカでの事業展開の足がかりとして、ぜひ姉妹県州関係を活用ください！



### 【駐在員によるビジネス支援】

県内企業より、ミシガン州(広くアメリカも含む)でのビジネス展開・販路開拓等について相談があれば、駐在員はミシガン州に関する情報提供や関係者の紹介、ミシガン州を訪問して市場調査等を行う場合の訪問先・視察先の調整等のサポートを行っています。

なお、湖南省においても、滋賀県誘客経済促進センターに駐在している県職員等による支援を行っています。

滋賀県国際課 HP <https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kurashi/kokusai/10839.html>

## 2 在デトロイト総領事館 進藤総領事退任レセプションでの近江の地酒プロモーション

ミシガン州とオハイオ州を管轄する在デトロイト日本国総領事館の進藤総領事が離任されることに伴い、11月13日に退任のレセプションが行われました。進藤総領事は、2021年7月に着任され、2023年9月ホイットマー州知事の滋賀県訪問の際の同行、また、近江の地酒プロモーションのサポートなど、滋賀県とミシガン州の交流発展に多大なるご理解、ご支援をいただきました。

開会の挨拶では、40年近いキャリアの中で、大変やりがいのある楽しい任務だったこと、退任後もミシガン州、オハイオ州との関係は尽きることなく大切にしていきたいことなどに触れられ、会場は大いに盛り上がりました。



駐在員はレセプション会場にて近江の地酒を PR する機会をいただきました。ミシガン州内での近江の地酒のプロモーションは 2023 年 1 月から行われ、2024 年 3 月より本格的な流通がスタートしており、レストランでの提供や店舗での取り扱いが少しづつ始まっています。



現在州内で流通しているのは 2 つの酒蔵から4銘柄ですが、今回は、これから州内での流通を目指す酒蔵からの 6 銘柄を紹介しました。参加者からは料理との相性や特徴、ラベルのデザインなど様々な質問いただき、近江の地酒の種類の豊富さと魅力をアピールする機会になりました。

## 教育交流

### 1. 甲賀市の中学生の皆さん、ようこそミシガン州へ

11月8日～16日、甲賀市主催「甲賀市・ミシガン州中学生国際交流事業」に参加する甲賀市の中学生の皆さんが州内の姉妹都市を訪れました。甲賀市はミシガン州内に姉妹都市が 3 つあり、今回は、デウイット市・デウイットチャータータウンシップに 9 名、マーシャル市に 5 名の中学生が滞在し、パートナーの中学生の家庭に滞在しながら学校に通い、現地での生活を通して交流を深めました。



11月11日にデウイット中学校で歓迎の朝食会が開催され、駐在員は来賓として参加させてもらい、交流を支えてくださる皆さんへの感謝を伝えるスピーチを行いました。デウイット市長はじめ市関係者や学校関係者の皆さんには交流に大変理解が深く、和やかなムードで会は進み、甲賀市の中学生は英語で、デウイット市の中学生は日本語でそれぞれ自己紹介するほほえましい場面もありました。甲賀市の中学生の皆さんにインタビューしてみると、「3歳から英語を勉強していてチャンスだと思って応募した」「英語が大好きで、参加を親も応援してくれた」



と参加動機を教えてくれ、その真っすぐな気持ちに、20 年以上前に中学生だった駐在員も心が洗われました。また、「ホストファミリーとミシガン湖を見に行った」「買い物に行った。家でペットと一緒に過ごすのも楽しかった」など充実した週末の話も聞くことができました。

この事業は 2005 年から継続して行われていましたが、コロナウイルス感染症の拡大により 2020 年から一時ストップし、昨年はミシガン州から甲賀市への派遣のみ(甲賀市からの派遣なし)という形で再開されましたが、ついに、今年度は相互派遣が再開することになりました。言葉や文化は異なってもお互いを理解し友情を深める体験をした甲賀市の中学生の皆さんのがからの活躍が楽しみです。



後日いただいたお礼状

## 草の根交流等

### 1 世界に誇る「THE シガパーク」を目指し、ミシガン州視察！

世界の公園の先進事例を調査し、「THE シガパーク」の魅力を高めるため、滋賀県職員 4 名が 11 月 7 日～8日にミシガン州内の公園等の視察を行いました。駐在員は、視察先のアレンジや事前調整、当日のアテンドを含め全面サポートしました。

視察を行った 3 か所は、ミシガン州と滋賀県にゆかりのある場所ばかりです。ここでは姉妹都市関係を中心 にレポートします。

#### マイヤーガーデン(正式名称 Frederik Meijer Gardens & Sculpture Park)

マイヤーガーデン園長をはじめ役員の方々が勢ぞろいで出迎えていただき、温かな雰囲気で視察がスタートしました。

マイヤーガーデンのあるグランドラピッズ市はジェラルド・R・フォード大統領ゆかりの街としても有名なミシガン州第 2 の都市で、近江八幡市と姉妹都市です。グランドラピッズ・近江八幡姉妹都市委員会は活発に活動されており、メンバー 4 名も視察に同行してくれました。

専用のトラムに乗り込み、副園長による解説で 53ha におよぶ広大なガーデン内を視察。野外彫刻や日本庭園のほか、県での取り組みのために、普段は入れないバックヤードなども含め案内していただきました。



日本庭園の中に、盆栽の展示や枯山水庭園があります。

この枯山水庭園を囲む土壌の瓦はなんと近江八幡市産だそうです。



今回の訪問時にはなかったのですが、グランドラピッズ市の7つの姉妹都市を紹介する展示もあり、近江八幡市の紹介として、植物など自然の素材を使った長命寺のレプリカがあるそうです。



2018年の姉妹県州提携 50 周年を記念し、三日月知事と当時のスナイダーミシガン州知事が植えた桜の木がこんなに大きくなっていました。



### 【マイヤーガーデン】

グランドラピッズ市発祥の中西部最大のスーパーマーケットチェーン店であるマイヤーが出資し、創業地に造成した大型植物・美術庭園。複数の野外彫刻があることでも有名です。

マイヤーガーデンと滋賀県のつながりは深く、2011 年のマイヤーガーデン園長の滋賀県訪問にさかのぼります。2015 年、マイヤーガーデンにて滋賀特別展が開催され、ミシガン州内外から約 38 万人が滋賀の美術品や文化財を鑑賞しました。また、同年に日本庭園が開園し、三日月知事が当時のミシガン州知事を招待し茶会を開催しました。さらに、2019 年には 50 周年記念事業の一つとして、滋賀県のアール・ブリュットの作品を展示するなど、姉妹交流の舞台になっています。

マイヤーガーデン公式 HP(英語)<https://www.meijergardens.org/>

## クランブルック ハウスアンドガーデンズ

デトロイト郊外の代表的な高級住宅地のあるブルームフィールドヒルズ市の大通りから一本道をそれ、並木道を走ると赤レンガ造りの美しい建物が見えてきます。クランブルック内の国定歴史建造物等の発信を行っているクランブルックセンターの責任者に施設の説明やクランブルックハウスや美術館の案内をしていただきました。

クランブルック内の各施設は独立して経営等を行っており連携が少ないことから、施設同士の交流を促す「ワンクランブルック」という新しいモデルを推進中とのこと。「THE シガパーク」との共通点に話が弾みました。



## 【クランブルック・ハウスアンドガーデンズ】

クランブルックは新聞社経営で財を成した実業家が子供たちのためのカントリー・ハウスを作るため農地を購入したことからはじまり、以降、小学校、女子高校、男子高校、教会、科学館、美術館といった公共施設が作られ、クランブルック・ハウスアンドガーデンズはその敷地内にある創始者の旧邸宅およびその周りの庭園を指します。庭園には日本庭園も含まれ、国土交通省による海外日本庭園再生プロジェクトも実施されています。

敷地内の歴史的建造物であるクランブルックハウス内で、近江の茶を PR するワークショップを開催していただくなど、滋賀県の活動にも協力いただいています。

クランブルック・ハウスアンドガーデンズ公式 HP(英語)<https://housegardens.cranbrook.edu/>

## ジョージ・ジョージ・メモリアルパーク／セントクレア湖メトロパーク／ウォルター＆マリーバークパーク

野洲市と姉妹都市であるクリントンタウンシップの姉妹交流関係者が公園・レクリエーションを担当していることをきっかけに、マコープ郡内の公園の視察が実現しました。当日は郡職員 2 名も駆けつけていただき、3 名で 3つの公園を案内していただきました。

クリントンタウンシップのジョージ・ジョージ・メモリアルパークは、その芝生や遊具、池だけでも魅力的ですが、クリントン川が流れしており、長年かけて汚染を取り除いてきたこと、また、カヤックを通じた広域的な観光振興、公園を中心としたトレイルで医療施設をはじめコミュニティをつなぐ計画など興味深い話題がありました。

また、ハリソンタウンシップのセントクレア湖メトロパークは、水辺の環境づくりや外来植物への対策など、滋賀県の取り組みとの共通点が多く、ニュー・ボルティモア市のウォルター＆マリーバークパークは、遊具のあるプレイグラウンド、スポーツ施設、釣り桟橋、ポート桟橋などが一体となっており、風光明媚な公園を楽しむ市民の姿を間近で見ることができました。



## ミシガン州での視察 おすすめポイント

### その1 姉妹交流の歴史が培った、顔の見えるネットワークが視察を支えます！

州政府や姉妹都市などの行政機関だけでなく、姉妹交流関係者は様々な企業や団体に関わっており、様々なテーマに対応可能です。

海外視察でアポイントを取ろうと該当機関に連絡しても放置される、話が進んでいたのに連絡が突然来なくなる、といったこともよくあるそうですが、ミシガン州では信頼関係、顔の見える関係で成り立っているので、安心して視察の計画が進められます。



### その2 ミシガン州と滋賀県との類似性が生きる！

そもそもミシガン州と滋賀県は湖つながりで姉妹県州協定を結びましたが、湖だけでなく川や内湖などの自然とのつながり、そこから発展してレジャー・農業など、政策に類似点や同じ問題を抱えているということがあります。

今回の視察でも、視察先の担当者が滋賀県の政策のことを大変興味を持って聞いてください、滋賀県側だけでなく、ミシガン州側にとっても双方にメリットがあるといえます。

### その3 視察後のフォローアップが充実！

人と人のつながりで作るミシガン州視察は、視察中だけで終わらないのが魅力です。事例を取り入れたい、同じようなことをやりたい、と思った時のフォローアップもバッチリです。

今回対応いただいた、どの視察先の担当者も、追加の質問や関連資料の送付などのサポートは大歓迎でした。どんなに良い先進事例を視察したとしても、それを実際に進めようとしたときに視察先の協力を得られるかどうかは重要ではないでしょうか。その意味で、快くフォローアップしてもらえるミシガン州での視察は大変おすすめです。

今回の視察を通じ、滋賀県からミシガン州に訪問団が来る、というのはとんでもない力があり、どこへ行っても大歓迎していただけるということを実感しました。

おすすめポイントに加えて、とても楽しく、心地よく視察ができること間違いなしです。海外視察の機会があれば、ぜひ視察の候補先に入れていただければと思います。



## 2 2つの都市が姉妹都市になる瞬間！

ミシガン州の州都ランシング市は、大津市を含め世界中に7つの姉妹都市がありますが、11月21日にトルコのエスキシェヒルとの間で新たに8都市目となる姉妹都市協定を締結しました。10年以上前に在デトロイトトルコ総領事と当時ミシガン州立大学にトルコから留学中だった学生との間で発案。その後、お互いに委員等を派遣し、コロナウイルスや選挙の時期などを乗り越え、ついに協定締結に至ったそうです。

エスキシェヒル市長団からの「政府間が友好関係を保てなかつたとしても、同じように家族や友人がいて、同じ経済問題を抱えている同じ市民同士が友好を深め、新しい文化に触れるることは、市民の可能性や視野を広げてくれる大変価値のあること」というコメントは、常に姉妹交流関係に支えられ仕事をしている駐在員にとっては、原点に立ち返るような思いでした。

ちなみに、ミシガン州内の27都市が日本と姉妹都市協定を結んでおり、そのうちの13都市が滋賀県内の自治体と姉妹都市関係を結んでいます。ランシング市と大津市の姉妹協定が結ばれたのは、アナーバー市と彦根市の姉妹協定とともに一番古く1969年。1994年以降は滋賀県とミシガン州の都市間での姉妹都市は生まれていないため、2つの都市が姉妹都市になる瞬間に立ち会えたのは大変貴重な体験になりました。

ランシング市長とエスキシェヒル市長による記念品の交換



### 【そもそも姉妹都市とは？】

米国は、欧州からの移民を中心に成立した国であり、ルーツである都市と姉妹関係をもち交流をしてきた歴史がありますが、1956年にアイゼンハワー大統領が提案した市民外交の国家構想「People to People Program」が後押しとなり、一般市民や市民組織が外交の担い手となり、海外の市民と直接交流することで、相互理解と世界平和を達成しようという取り組みが本格的に始まりました。

今日では、日米間の都市と市町村、州と都道府県の間に450を超える姉妹提携が存在しています。アメリカの姉妹都市事業は、ほとんどがボランティア主導である一方で、日本の姉妹都市事業は、一般的に自治体の国際交流部門が公的支援を受けて運営しています。

## 1 大塚産業マテリアル株式会社 大塚社長ミシガン州訪問について

古川米国法人副社長より、事業のさらなる拡大に向け、北米のシートメーカーとのビジネス展開について協力してほしいとの依頼があり、駐在員の仲介でミシガン州経済開発公社の企業誘致担当者の協力を打診したところ、大塚産業マテリアル社長のミシガン訪問に合わせ、同社が面会を希望する企業3社中2社とのミーティングが実現しました。

### 【これまでの経緯等】

- ・大塚産業マテリアルは、2022年1月にミシガン州ノバイ市にセールス拠点となる米国法人を設置。大塚社長は2023年10月にミシガン州を訪問。州外の顧客回りのためミシガン州滞在は1日だったが、総領事との面会、製造拠点の検討のためのバトルクリーク経済開発公団の訪問を実施。
- ・今回の米国出張の主な目的は、前回と同様にインディアナ州等の顧客回りが中心だったが、ミシガン州企業との面会が確定したため、ミシガン州の滞在を増やされ、前回は実現しなかったミシガン州経済開発公社とのミーティングも実施することになる。

### (1)ミシガン州経済開発公社の主催ミーティング

日 時:2024年11月13日(水) 8:30~9:30

場 所: ノバイ市役所

出席者:大塚産業マテリアル株式会社	大塚代表取締役社長、古川米国法人副社長
ミシガン州経済開発公社	アマンダ・アイスブレナー事業開発アドバイザー
ノバイ市	メディソン・ソレソンビジネス開発マネージャー
	ビクター・カーディナス シティマネージャー
	チャールズ・ボラード コミュニティ開発部長
デトロイト地域パートナーシップ※	マルコ・ソロモン ビジネス開発部長

(※ミシガン州南東部 11 の郡地域の振興を目的とし、ビジネスマッチング、企業誘致等を行う経済開発非営利団体)

- ・企業2社の訪問前に、ミシガン州経済開発公社企業誘致担当者、デトロイト地域パートナーシップ担当者より、地域の概要や取組の説明。
- ・ミシガン州経済開発公社担当からは、ミシガン州内に生産拠点を置くかどうかにかかわらず、10年先のプランであったとしても、今からマーケティングやりサーチの面で協力するので何でも相談してほしいとのアドバイスが。
- ・デトロイト地域パートナーシップ担当者からは、日本語学習者や技術を身につけた大学生やエンジニアが豊富なエリアで、現地で雇用を進める際には大きな助けになることについても言及があった。
- ・ノバイ市より、シティマネージャーとコミュニティ開発部長が同席。ミシガン州内で日本人が一番

多く住んでいる市で、日系企業が多く立地しており、日本企業のサポートに非常に積極的。古川米国法人副社長が会社説明を行い、ノバイ市担当者に市内で活動する日系企業の一つとして認知いただく。ノバイ市には、2025年の長浜市からの小学生のスポーツ交流の受け入れを快諾いただいており、滋賀県とのつながりについても歓迎いただく。



## (2)ミシガン州内企業2社との面会

以下の2社と面会。面会には駐在員が同席。ミシガン州経済開発公社担当者の同席はなし。

### ① MAGNA

- ・ミシガン州ノバイ市に拠点のある、世界第5位の規模のカナダの自動車部品メーカー。シート関連のグローバル部門担当者とのミーティングを実施。
- ・大塚産業マテリアルからは、主力製品であるモールド資材のサンプルとともに、新製品であるリサイクル可能な素材で作られた垂直不織布のサンプルを提示し、製品のメリットや特色を説明。
- ・企業担当者は、今後、北米もヨーロッパと同じような基準でリサイクル可能なサステイナブルな素材への転換が見込まれるため、新製品である垂直不織布に興味を持たれる。さらに、米国内に製造拠点を設置しているかについて質問。
- ・大塚産業マテリアルからは、米国内の製造拠点の必要性を感じており、マーケットの規模や、投資に見合う利益を勘案して進めていく予定であること、デトロイト周辺に倉庫を設置して在庫を一定抱えられるようになったことについて説明。今回のミーティングの後、希望に合ったサンプルを持参し、日本の技術メンバーとビデオ会議を行うことを提案。企業側も快諾。
- ・駐在員からは、滋賀県とミシガン州のこれまでの交流、ビジネス分野での交流の広がりについてコメント。企業担当者は普段からミシガン州経済開発公社とつながりが強く、駐在員およびミシガン州経済開発公社の仲介でミーティングが実現したことを大変好意的に受け止めていただく。

## ② FORVIA

- ・ミシガン州内に5拠点を有する、世界第7位の規模のフランスの自動車部品メーカー。今回はノバイ市の拠点を訪問し、同社の技術担当者とミーティングを実施。
- ・大塚産業マテリアルからは、主力製品であるモールド資材のサンプルとともに、新製品であるリサイクル可能な素材で作られた垂直不織布のサンプルを提示し、製品のメリットや特色を説明。
- ・担当者は、これからグローバルスタンダードに対応しつつ、大量に生産していかにコストを押さえていけるか、リスクにどう対応していくか日々格闘しているとのこと。
- ・大塚産業マテリアルからは、今回紹介した製品がそういったニーズに応えていけること、顧客からの声も反映できるよう研究者とともに同社をサポートできることについて言及。試作品を持参した次のミーティングを提案。企業側も快諾。
- ・駐在員からは、滋賀県とミシガン州のこれまでの交流、ビジネス分野での交流の広がりについてコメント。昨日が姉妹協定56周年記念だったことに触れたところ大変親近感を持っていただき、滋賀県の仲介を喜んでいただく。



## (3)今回の成果および今後の展開

- ・ミシガン州経済開発公社の担当者との面会は今回が初めてであり、大塚産業マテリアルにとって、経済開発公社担当者とつながりを深め、経済開発公社の持つリソースをさらに活用するきっかけをつくることができた。大塚社長からは、地域の特色や最新の傾向など、まとまった情報が聞けて大変有益だったとコメントをいただく。
- ・ミシガン州内企業2社との面会については、大塚社長の訪問に加え新製品の試作品完成のタイミングと合い、国内メーカーだけでなく米国メーカーを顧客にしていきたいという大塚産業マテリアルの戦略を進めるための大きな一步となった。大塚産業マテリアル社長からも、滋賀県という公的な機関のサポートを受けているという意味でもイメージアップにつながるとのこと、駐在員同行に大変感謝いただく。
- ・今後の展開としては、大塚産業マテリアルの希望や問題点を把握するなどフォローアップを行い、経済開発公社およびノバイ市担当者との関係を十分に活用し、引き続きサポートを行っていく。

## 1 株式会社ナンガ ミシガン州訪問について

米原市に本社のあるアウトドア製品・アパレル製品の生産販売等を行う株式会社ナンガが、ミシガン州でのビジネス機会についてのミーティングおよびマーケットリサーチを行うため、初めてミシガン州を訪問しました。駐在員は、ミシガン州経済開発公社の企業誘致担当者に視察先選定等の協力を依頼し、訪問をサポートしました。

### 【これまでの経緯等】

- ・2024年6月に三日月知事と株式会社ナンガ横田社長が面会する機会があり、アメリカでのビジネス展開について話題に挙がる。
- ・7月3日国際課員が米原市の本社を訪問。横田社長より、ロサンゼルスやニューヨークは新しいものに寛容だが、その他の地域は保守的で自国のブランドを選ぶ傾向があり、日本のブランドが入り込むのが難しいこと、アメリカで今取引先は30件だがどう伸ばしていくか課題となっており、滋賀県の姉妹都市という県のつながりを利用したいとのことで、駐在員が現地で情報収集することになる。また、後日担当者をミシガン州立大学連合日本センターにご案内することになる。
- ・7月25日藤居管理本部長と人事課担当者がミシガン州立大学連合日本センターを訪問。マクラケン所長より事業紹介およびミシガン州のアウトドアやアクティビティについて情報提供。センターで学ぶ留学生のインターンシップ先を探している件についても情報共有。
- ・その後、グローバルセールスを担当する営業部岩田マネージャーも交え、駐在員からの店舗情報などを交換していたところ、11月のアメリカ出張の際にミシガン州に立ち寄るとの知らせがあり、訪問が実現することになる。

### (1)ミシガン州経済開発公社の主催ミーティング

日 時： 2024年11月12日(火) 9:00～11:30

場 所： ニューラボ(デトロイト市内)

出席者： 株式会社ナンガ

横田社長、営業部岩田マネージャー

興和株式会社

栗原氏、赤津氏(ナンガのビジネスパートナー)

ミシガン州経済開発公社

アマンダ・アイスブレナー事業開発アドバイザー

メディソン・ソレソンビジネス開発マネージャー

アマンダ・ベーカー 上級ビジネス開発マネージャー

ミシガン州アウトドアクリエーション産業事務所

ブラッド・ガルモン 上級部長

デトロイト地域パートナーシップ アラン・ウェーバー ビジネス開発部長

(※ミシガン州南東部11の郡地域の振興を目的とし、ビジネスマッチング、企業誘致等を行う経済開発非営利団体)

- ・冒頭で岩田マネージャーより、会社紹介。ヒマラヤ山脈の高峰ナンガ・パルバットから着想を得た、起きた困難やシチュエーションに立ち向かうという社名の由来や、ダウンの品質へのこだわり、人気商品などについて紹介。あわせて、アメリカでのビジネスの課題として、マーケットが保守的であり、ヨーロッパと比べて売り上げが伸びていないこと、マーケティングが弱点で十分に取り組めていないことなどを共有。
- ・デトロイト地域パートナーシップ担当者より、200を超える大学がミシガン州と周辺州にあり、優秀な人材の獲得が容易であること、カナダを含めてセールスマーケットに近く、製造業だけでなく卸売業も盛んであること、さらに日本人コミュニティーとの草の根のつながりの存在等デトロイト地域の優位性について説明。
- ・アウトドアクリエーション産業事務所スタッフから、70%以上の州民がトレイルなど何らかのアクティビティに参加していることに言及があり、アイスクライミングなどミシガン州でしかできない魅力のある冬のアウトドアについて、写真や動画を交えて紹介。



→その後、会議開催場所であるニューラボ内を視察。

- ・デトロイト発のスタートアップ企業の代表者に案内してもらい、実際にラボを使用して製品を製造している現場を見学。少ない資金でスタートアップに必要な機材等を使用できる魅力について説明がある。

#### 【ニューラボとは？】

モビリティに重点を置いた技術革新のための施設「ミシガン セントラル」内に 2023 年 4 月にオープンスタートした、スタートアップ企業のための施設。アール・デコ様式の建物は 1936 年にアルバート・カーンが郵便局と郵便物の仕分け施設として設計、その後デトロイト公立学校の図書倉庫として使用されていたが、現在はスタートアップ企業、エンジニアや科学者が集まるイノベーションとテクノロジーの中心地となっている。



## (2)現場見学

日 時:2024年11月12日(火) 13:00~13:30

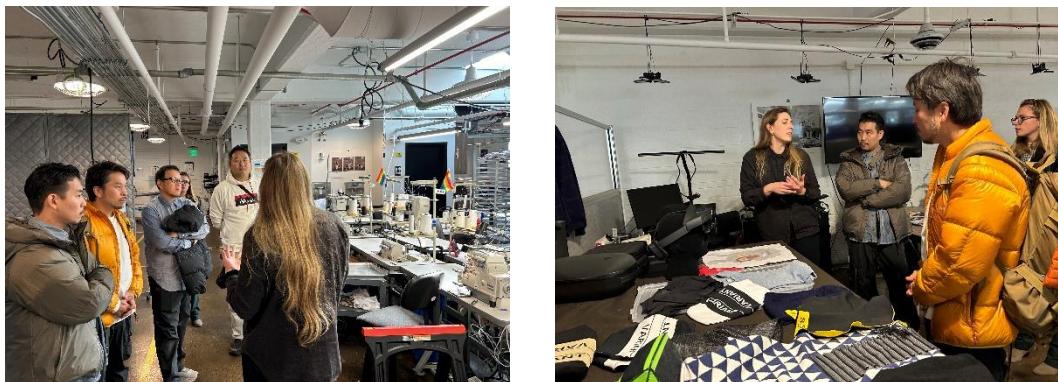
場 所:ISAIC(デトロイト市内)

・ISAIC 担当者に案内してもらい、工業縫製の訓練場所であると同時に製造工場となっている現場を見学。

・ISAIC 担当者と、米国での卸売業や流通面の課題、人材教育の特徴等について情報交換。

### 【ISAICとは?】

工業縫製とイノベーションセンターを兼ねたデトロイトを拠点とする非営利団体。高品質の衣服の製造および人材教育のためのトレーニングカリキュラム等の提供を行っている。ISAIC 独自のトレーニングカリキュラムは、複数の州で使用されている。



## (3)NANGA 独自の視察

同社にとって今回が初めてのミシガン州訪問のため、アウトドア関連の店舗等を面会予約なしで回り、商品の取り扱い状況などを視察。ご厚意により駐在員も同行させていただく。ミシガン州経済開発公社担当者の同行はなし。

### ① CARHARTT

- ・デトロイト発祥ブランドのうちナンガの視察候補リスト挙がっていたブランド。店舗およびブランドを紹介するスペースを視察。
- ・会社紹介については、会社の歩みが製品も交えてわかりやすくおしゃれに紹介されており、詳しく見学される。

### 【カーハートとは?】

1889年、ミシガン州デトロイトでハミルトン・カーハートによって設立されたブランド。ワークウェアの先駆者となったアメリカで最初の会社の1つ。

男女、年齢関係なく人気で、ランシング市内での冬の屋外イベントなどでは 10 人のうち1~2

人はこのブランドのロゴのニット帽をかぶっているのではと思われるほど愛用している人が多い。丈夫で長持ちするワークウェアとして、さらにはファッショングランドとして州民に親しまれている。



## ② Today Clothing

- ・アナーバー市にあるメンズセレクトショップ。ナンガの事前調査により、ナンガがコラボレーションしているブランドの取り扱いがあることがわかったことから視察。
- ・店舗では取り扱いブランドや商品展開を詳しくチェックするとともに、オーナーに直接ナンガのダウンジャケットを試着してもらい、製品をアピール。
- ・ナンガにとって、ブランドの価値や価格帯を理解してもらえる個別の販売先は大変貴重であり、そういう店がミシガン州内にあるかを知るのは重要なこと。
- ・駐在員からは、アナーバー市は滋賀県の彦根市に姉妹都市があり、このブランド本社もすぐ近くであることを伝えたところ、オーナーに大変好感を持っていただく。



## ③ REI (Recreational Equipment, Inc.)

- ・全米チェーンのアウトドア用品店のアナーバー店を視察。
- ・全米展開しているが、店舗によって品ぞろえが違うため、ミシガン州での商品展開を確認。
- ・分厚くて暖かいのに乾きやすい靴下など、機能を兼ね備えた小物類などチェック。

### 【REI(アール・イー・アイ)とは?】

1938年、シアトルで創業した全米で展開するアウトドア用品店。

駐在員の周りでも知らない人はいないほど有名なブランド。店内は日本のアウトドア用品店と同じ雰囲気で、テント、寝袋、自炊のための調理用具、ウェアなど、キャンプ用品が充実。



#### (4)ミシガン州経済開発公社主催の夕食会

日 時:2024年11月12日(火) 18:30~21:00

場 所:イタリア料理レストラン(デトロイト市内)

- ・ミシガン州経済開発公社スタッフ、アウトドアクリエーション産業事務所スタッフ、デトロイト近郊にて若者にアウトドアの機会を広く提供しているデトロイトアウトドアのスタッフなどを交え、一日の振り返りおよび情報交換。

#### (5)今回の成果および今後の展開

- ・ミシガン州経済開発公社の企業誘致担当者だけでなく、アウトドアクリエーション産業事務所やデトロイト地域のビジネスを支援する団体の担当者など、ナンガと同社のビジネス展開に合った公的な機関とを結びつけることができた。
- ・現場視察を通じて、ミシガン州でのビジネス展開の可能性について、長期的な視野を含めた検討のため情報収集のサポートをすることができた。
- ・今後の展開としては、岩田営業マネージャーによると、来年度以降のアメリカ出張の際にもミシガン州の訪問を検討しているとのことで、可能性のある店舗の情報収集や、アナーバー市の店舗へのフォローアップなどを含め、引き続きサポートしていく。